

経皮的冠動脈ステント留置術を受けた患者さんへ

地方独立行政法人大牟田市立病院では、受診時に患者さんから取得された診療情報等を使用して下記の研究を行っています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ先までご連絡ください。
また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。本件研究の対象者に該当されると思われる方またはその代理人の方で診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、問い合わせ先までご連絡ください。なお、その申し出は研究成果公表前までとなりますのでご了承願います。

研究課題名	冠動脈分岐部病変に対する経皮的冠動脈ステント留置術における jailed balloon technique の側枝閉塞予防効果
研究責任者	地方独立行政法人大牟田市立病院 循環器内科 責任者名：貞松研二
研究の目的と意義	冠動脈疾患において血行再建療法の対象となる病変の約 20%が分岐部病変です。治療に伴う側枝傷害は周術期心筋梗塞の原因ともなるため、その予防は重要です。多くの予防策がこれまで考案されてきたが、近年提唱された jailed balloon technique は、比較的シンプルで効果が高く、いくつかの変法が考案されています。 この研究では、jailed balloon technique の側枝閉塞予防効果を検討し、有効性を明らかにします。 * この研究は、大牟田市立病院倫理委員会臨床研究専門部会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。
調査データ 該当期間	2020 年 12 月～2025 年 5 月までの情報を調査対象とします
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる方 受診科：地方独立行政法人大牟田市立病院 循環器内科 対象疾患：冠動脈疾患で経皮的冠動脈ステント留置術を受けた患者 ●研究の実施期間 2023 年 10 月 10 日～2026 年 12 月 31 日 ●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。 ・患者情報、臨床検査データ、心臓カテーテル検査情報
情報の保護	研究に関わる関係者は、対象となる患者さんの個人情報およびプライバシーの保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。 対象となる患者さんの個人情報は、個人情報が特定できないように加工を行い、その個人情報を復元できる情報（対応表）は、研究責任者が保管します。
外部への情報提供	外部への情報提供は行いません。

試料・情報の提供の
の辞退に関するお申
し出先・お問い合わせ
先

地方独立行政法人大牟田市立病院
循環器内科 貞松 研二
臨床研究管理室
電話：0944-53-1061（平日 9 時～16 時）